

ZENRIN

証券コード：9474

2014年3月期 第3四半期決算

2014年1月31日

株式会社ゼンリン

Maps to the Future

◆ 目次

1. 2014年3月期 第3四半期決算概要
 - 1) 2014年3月期 第3四半期決算概要
 - 2) 売上高・利益の推移
 - 3) 営業利益増減要因(前年同期比)
 - 4) 中期経営計画(ZGP2015)で区分した事業別売上高
 - 5) セグメント情報
 - 6) 設備投資額、減価償却費、研究開発費
2. 2014年3月期 業績予想
 - 1) 2014年3月期 業績予想
 - 2) 売上高・利益の推移
 - 3) 中期経営計画(ZGP2015)で区分した事業別売上高
 - 4) 四半期売上高構成比 推移
 - 5) (参考)設備投資額、減価償却費、研究開発費(通期)
3. 中期経営計画(ZGP2015)で区分した事業別概要
4. 配当金
 - 1) 配当金推移と今期の配当金について
5. 自己株式取得
 - 1) 自己株式取得枠の設定と買付状況

注)本資料には、本資料作成日時点で入手可能な将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済の動向・市場需要・競争状況・為替の変動等にかかわる様々なリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。
 なお、本資料掲載情報は、表示単位未満の端数切捨て、増減率の小数点以下第2位四捨五入し小数点第1位まで記載しております。
 また、増減率が1000%を超える場合や、比較対象の一方若しくは両方がマイナスの場合は「-」表記しております。

1. 2014年3月期 第3四半期決算概要

1) 2014年3月期 第3四半期決算概要

(単位:百万円)

2014年3月期 第3四半期決算のポイント <減収減益>

- ・売上高は、第3四半期においても軽自動車へのシフトの影響、カーナビゲーション市場における低価格モデルへの構成変化が同様に推移し減収。
- ・損益面は、減収の影響に加えて、データベース整備やスマートフォン向けサービス等に係わる先行費用の増加、並びに特別損失に子会社整理損、事業再編損を計上したことなどにより四半期純利益は△212百万円。

	2013年3月期 Q3実績	2014年3月期 Q3実績	前年同期比	増減率(%)
売上高	38,650	37,001	△1,648	△4.3
営業費用	35,198	36,388	1,189	3.4
営業利益	3,451	613	△2,838	△82.2
営業利益率	8.9%	1.7%	△7.2pt	
経常利益	3,661	855	△2,806	△76.6
経常利益率	9.5%	2.3%	△7.2pt	
四半期純利益	1,435	△212	△1,647	—

1. 2014年3月期 第3四半期決算概要

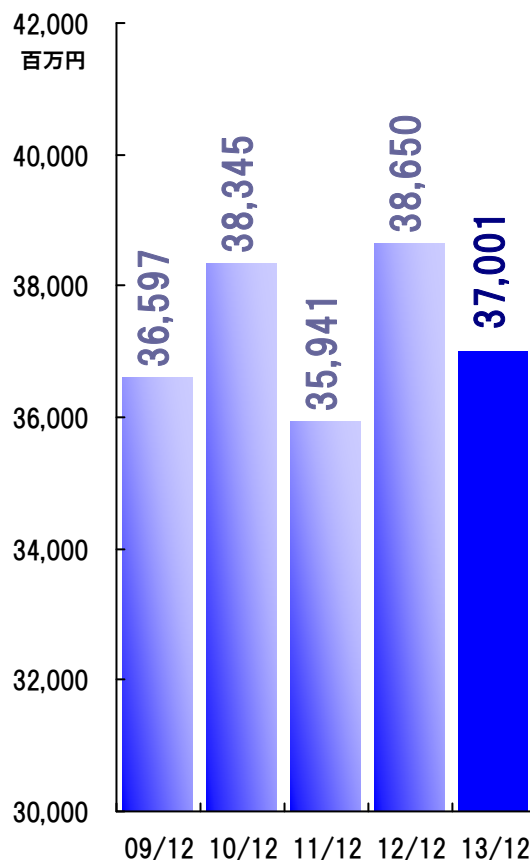
2) 売上高・利益の推移

(単位:百万円)

売上高

前年同期比

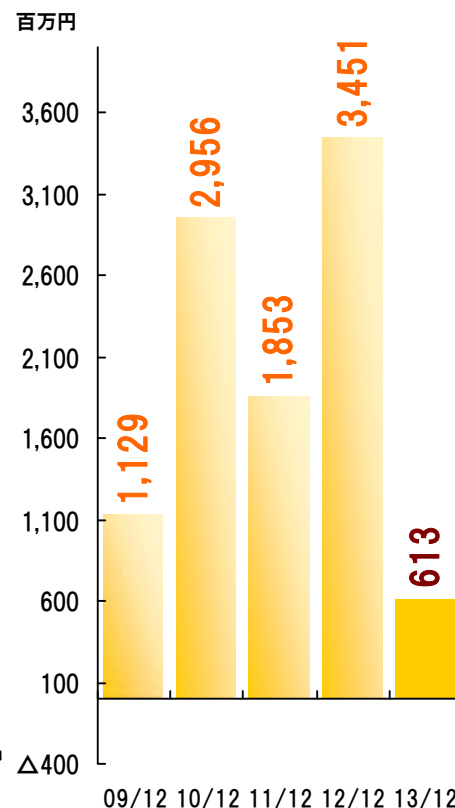
1,648減少 (△4.3%)



2期ぶりの減収

営業利益

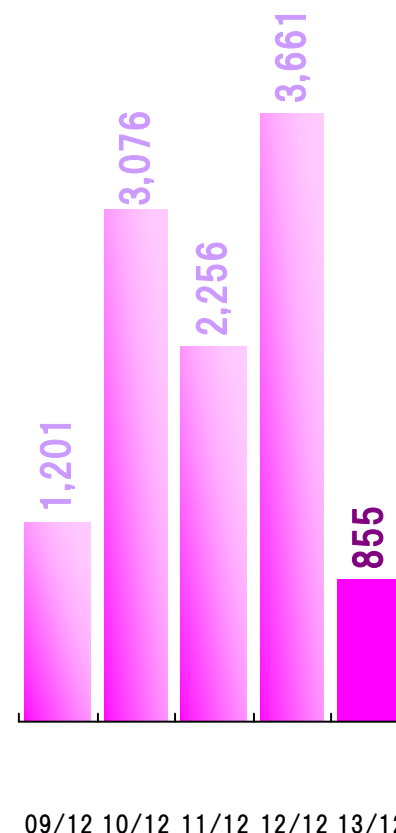
2,838減少 (△82.2%)



2期ぶりの減益

経常利益

2,806減少 (△76.6%)

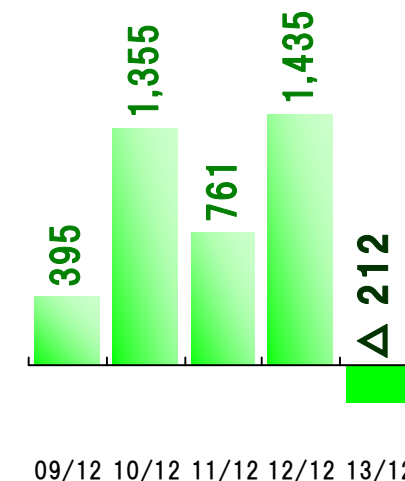


2期ぶりの減益

四半期純利益

1,647減少 (—)

特別利益	98
特別損失	388
税金等調整前	
四半期純利益	566
法人税等	421
少数株主損益	
調整前四半期利益	144
少数株主利益	356
四半期純損失(△)	△212

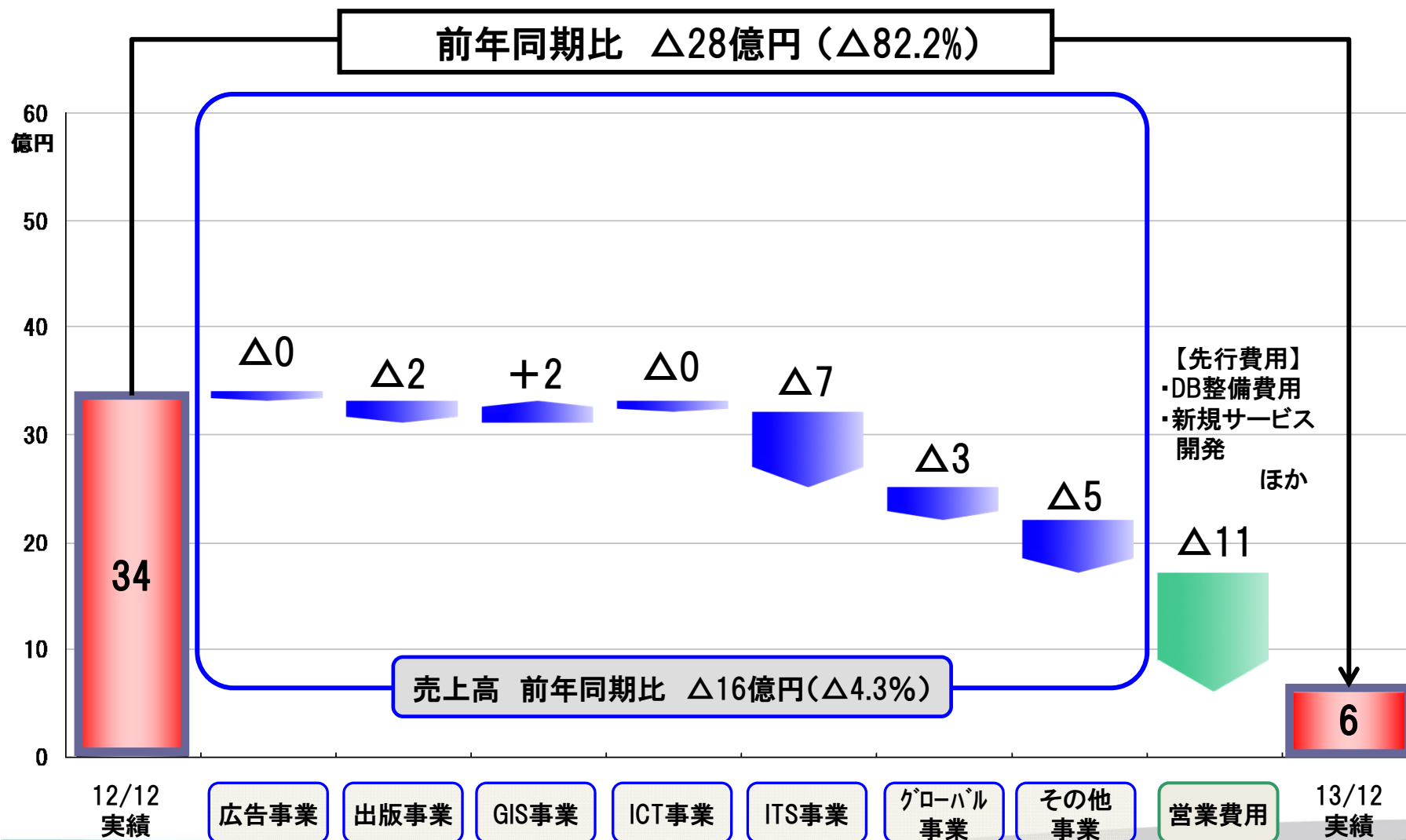


9期ぶりの損失

1. 2014年3月期 第3四半期決算概要

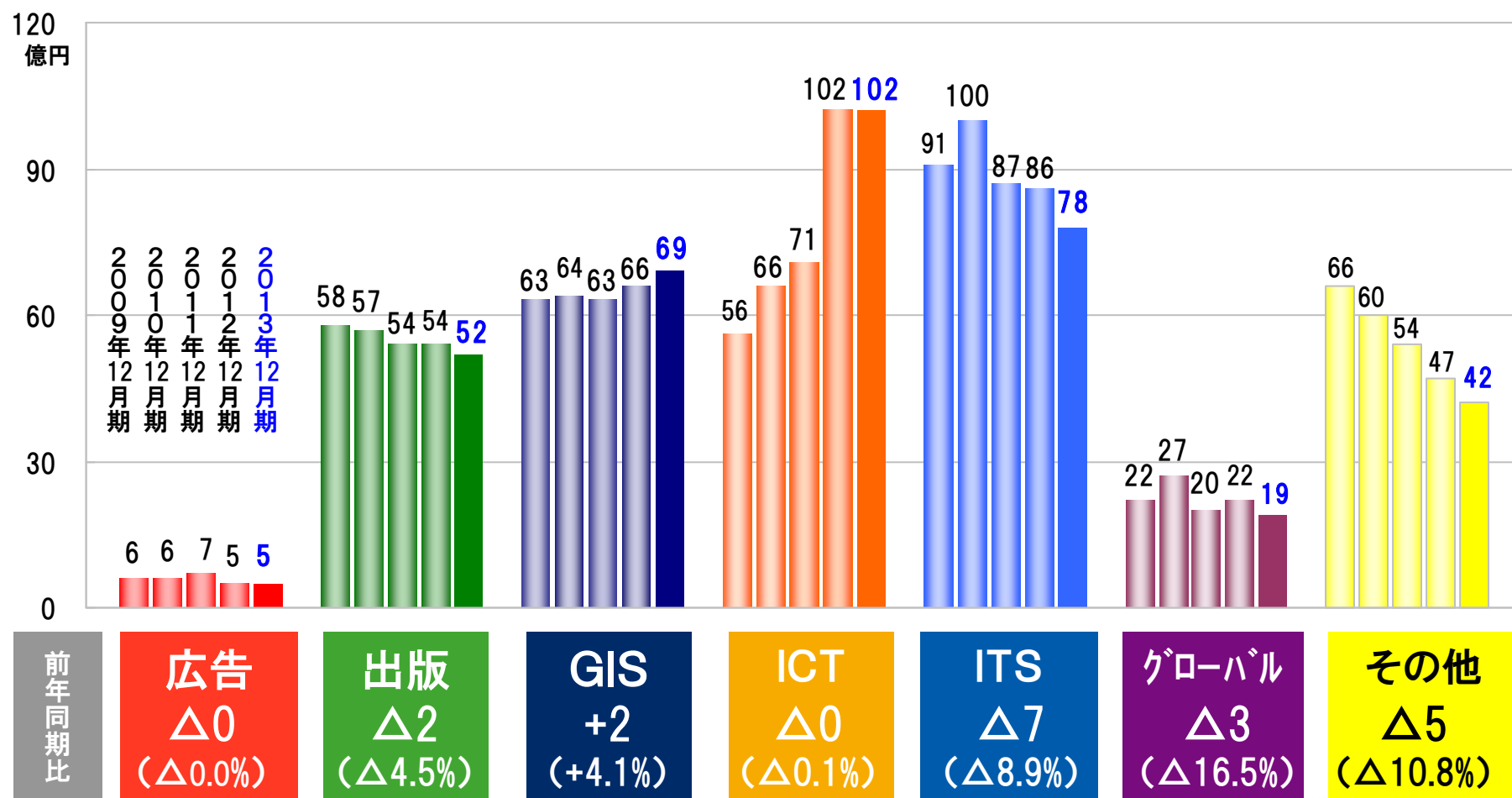
3) 営業利益増減要因 (前年同期比)

(単位: 億円)



1. 2014年3月期 第3四半期決算概要

4) 中期経営計画(ZGP2015)で区分した事業別売上高 (単位:億円)



5)-1 セグメント情報

売上構成
比率

85.6%

1. 地図データベース関連事業

主要品目等：住宅地図帳、住宅地図データベース
国内外カーナビ用地図データ
スマートフォン向けサービス
各種メディア・デバイスへの地図情報提供等



7.9%

2. 一般印刷関連事業

主要品目等：商業印刷



6.5%

3. その他

主要品目等：仕入商品、ノベルティ商品、CAD受託処理



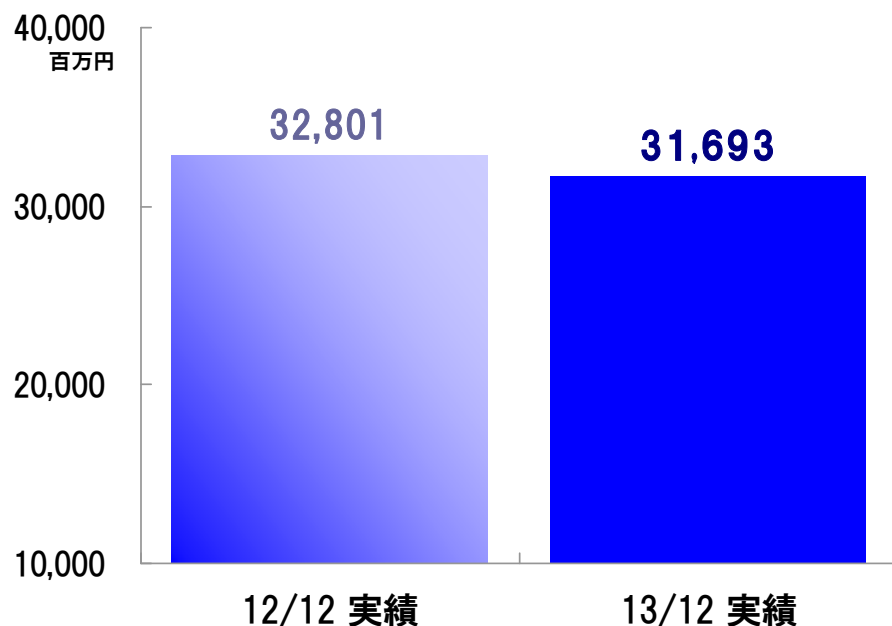
5)-2 地図データベース関連事業

(単位:百万円)

売上高

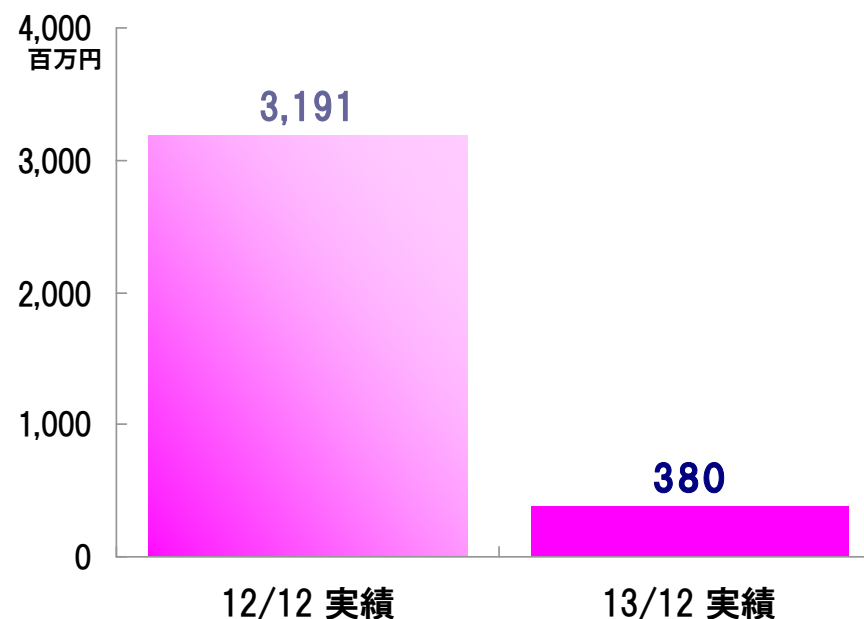
前年同期比

1,108減少 (△3.4%)



営業利益

2,810減少 (△88.1%)



前
年
同
期
比

■売上高は、第3四半期においても軽自動車へのシフトの影響、カーナビゲーション市場における低価格モデルへの構成変化が同様に推移し減収。

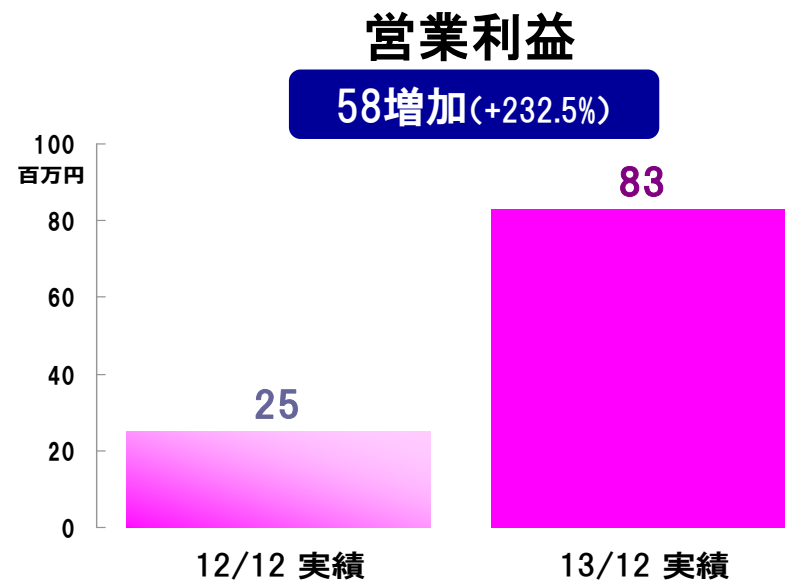
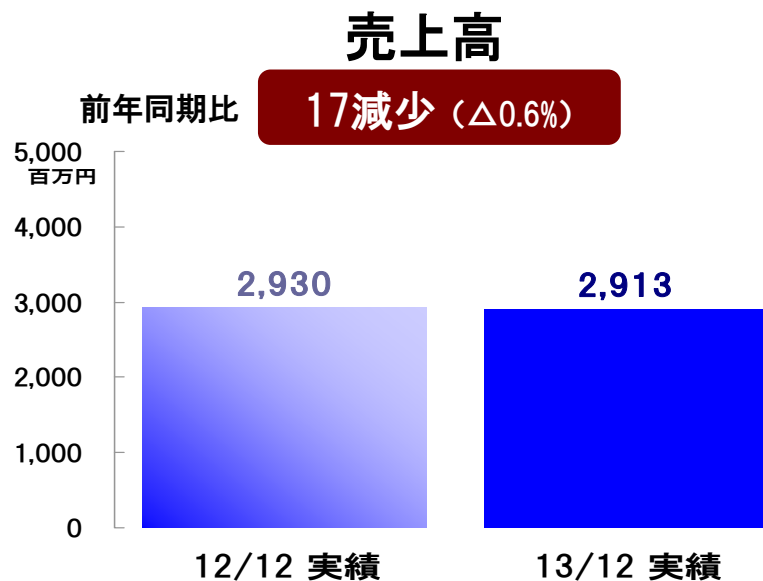
■損益面は、減収の影響、データベース整備やスマートフォン向けサービス等に係わる先行費用が増加。

1. 2014年3月期 第3四半期決算概要

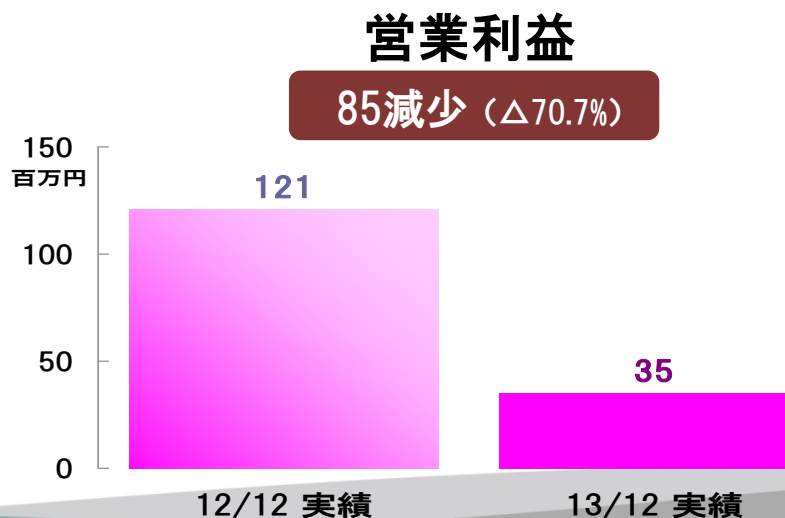
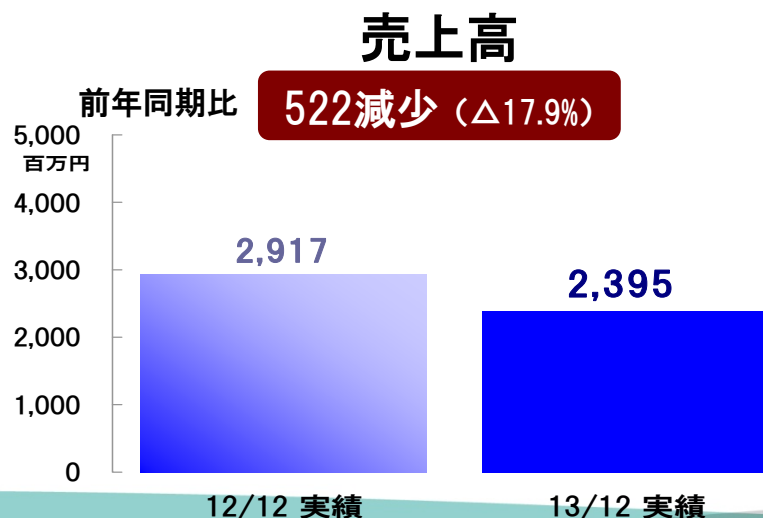
5)-3 一般印刷関連事業・その他

(単位:百万円)

一般印刷関連事業



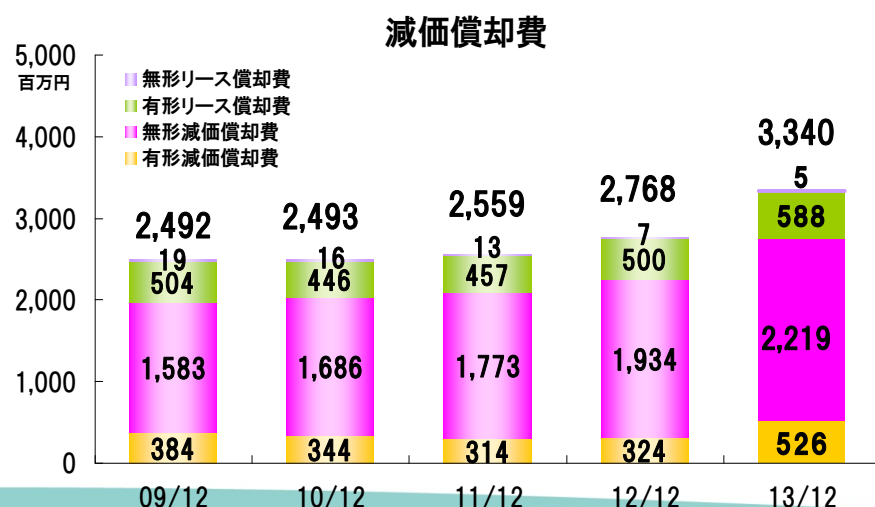
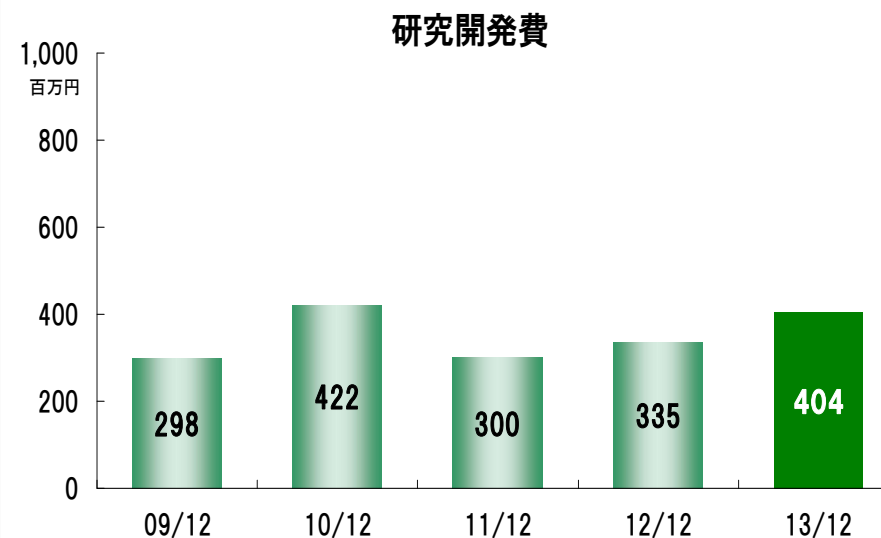
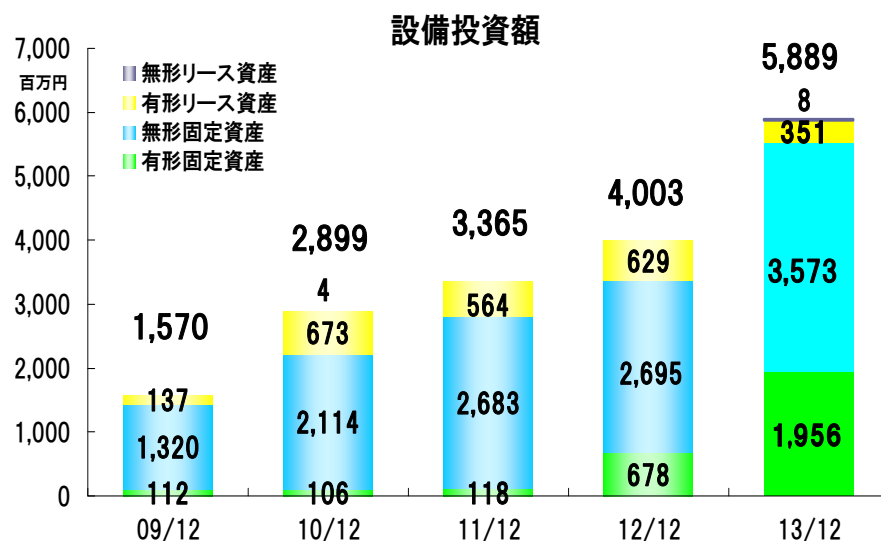
その他



1. 2014年3月期 第3四半期決算概要

6) 設備投資額、減価償却費、研究開発費

(単位:百万円)



2. 2014年3月期 業績予想

1) 2014年3月期 業績予想

(単位:百万円)

2014年3月期 業績予想の概要(1/31発表)

景気回復に伴う需要増加などは若干見込まれるものの、当社グループ業績に影響を与える国内新車販売の軽自動車へのシフトや、カーナビゲーションの低価格モデルへの構成変化などを考慮し、連結・個別ともに売上高、利益を修正。

	2013年3月期 実績	2014年3月期 期首予想	2014年3月期 業績予想	前期比	増減率	期首 予想比	増減率
					%		%
売上高	54,991	56,000	53,000	△1,991	△3.6	△3,000	△5.4
営業費用	49,406	50,800	50,300	893	1.8	△500	△1.0
営業利益	5,585	5,200	2,700	△2,885	△51.7	△2,500	△48.1
営業利益率	10.2%	9.3%	5.1%	△5.1pt		△4.2pt	
経常利益	5,076	5,500	3,100	△1,976	△38.9	△2,400	△43.6
経常利益率	9.2%	9.8%	5.8%	△3.4pt		△4.0pt	
当期純利益	1,835	2,500	900	△935	△51.0	△1,600	△64.0

※期首予想は2013年5月8日に発表した数値、業績予想は2014年1月31日に発表した数値です。

2. 2014年3月期 業績予想

2) 売上高・利益の推移

(単位:百万円)

売上高

前期比

1,991減少 (△3.6%)

期首予想比

3,000減少 (△5.4%)

営業利益

2,885減少 (△51.7%)

2,500減少 (△48.1%)

経常利益

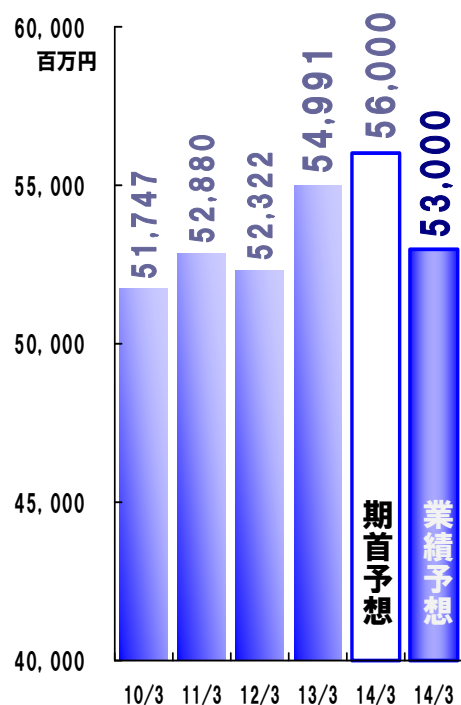
1,976減少 (△38.9%)

2,400減少 (△43.6%)

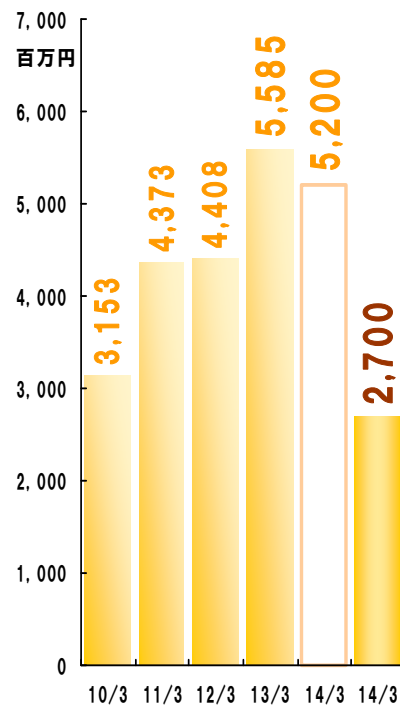
当期純利益

935減少 (△51.0%)

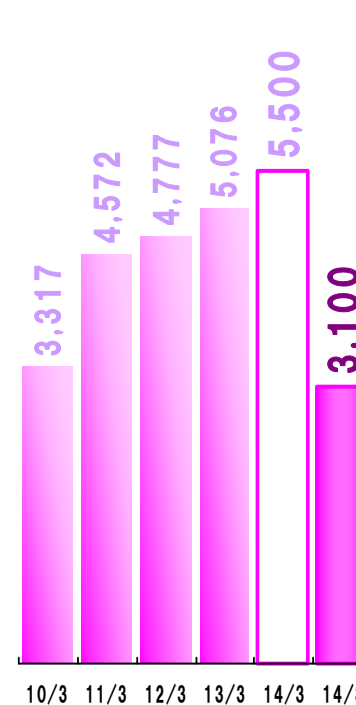
1,600減少 (△64.0%)



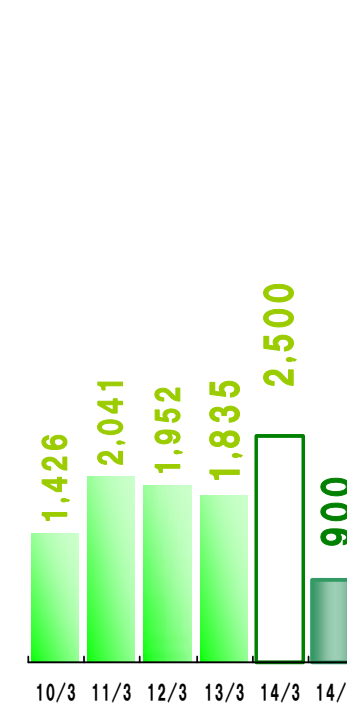
2期ぶりの減収



4期ぶりの減益



4期ぶりの減益

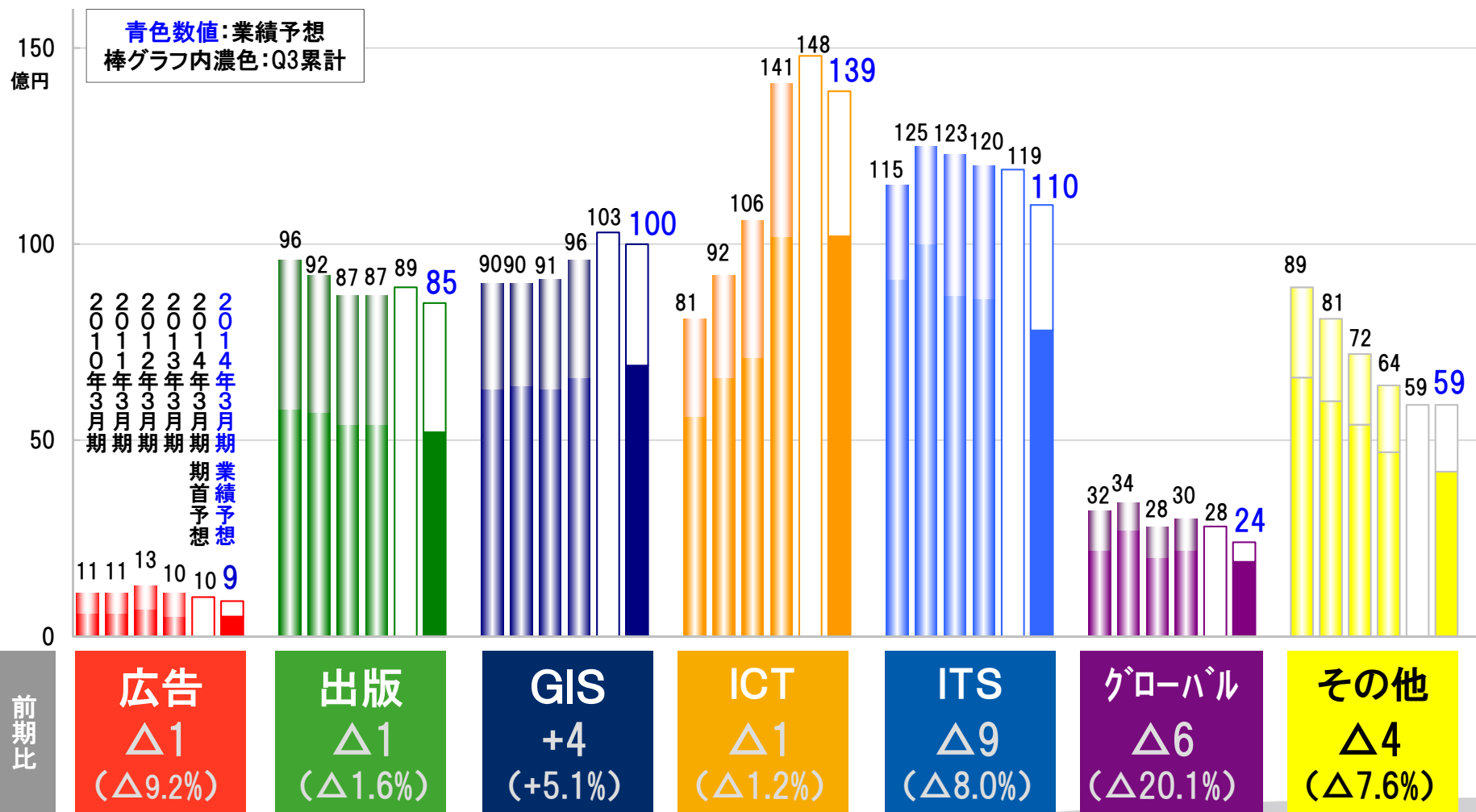


3期連続の減益

※期首予想は2013年5月8日に発表した数値、業績予想は2014年1月31日に発表した数値です。

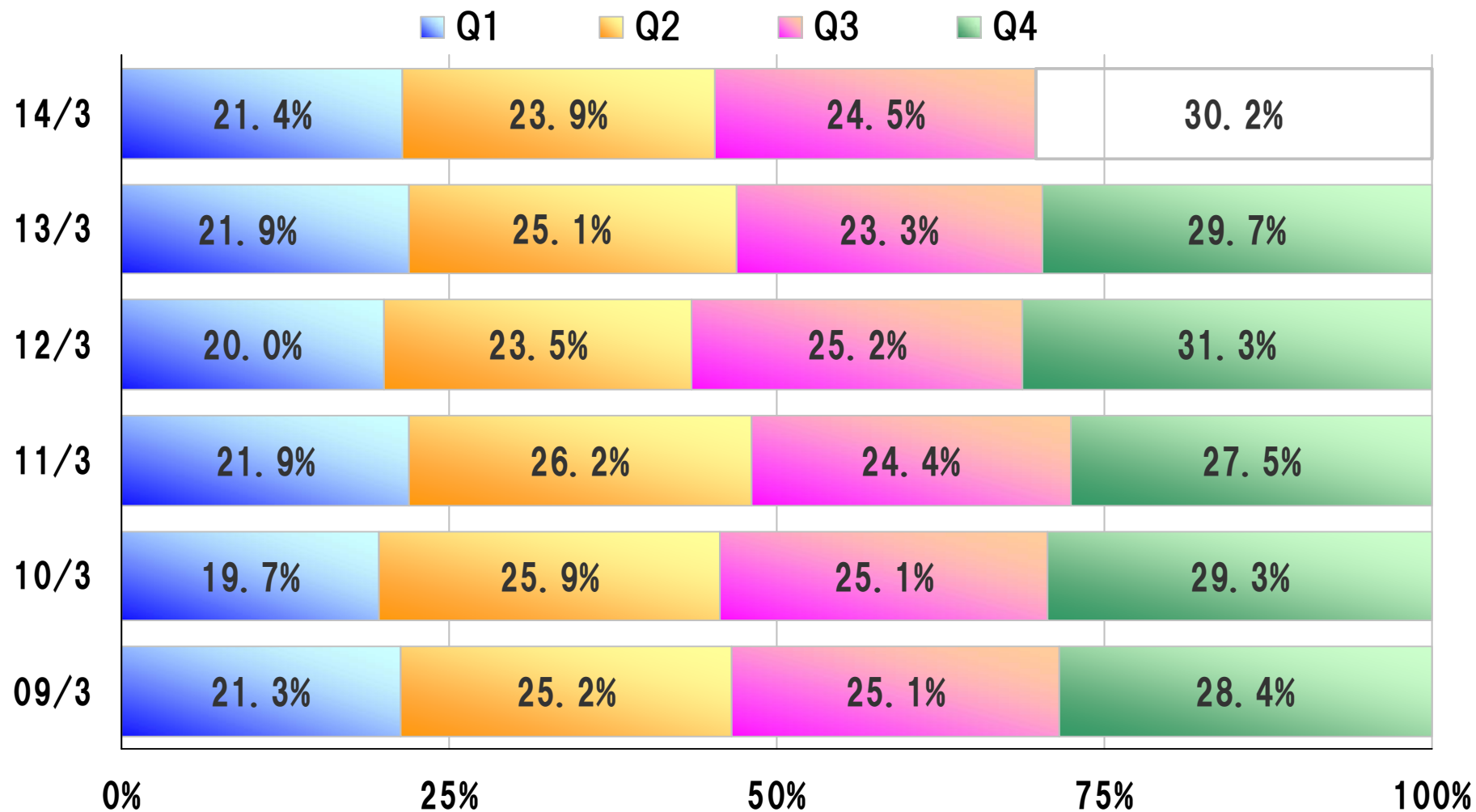
2. 2014年3月期 業績予想

3) 中期経営計画(ZGP2015)で区分した事業別売上高 (単位:億円)

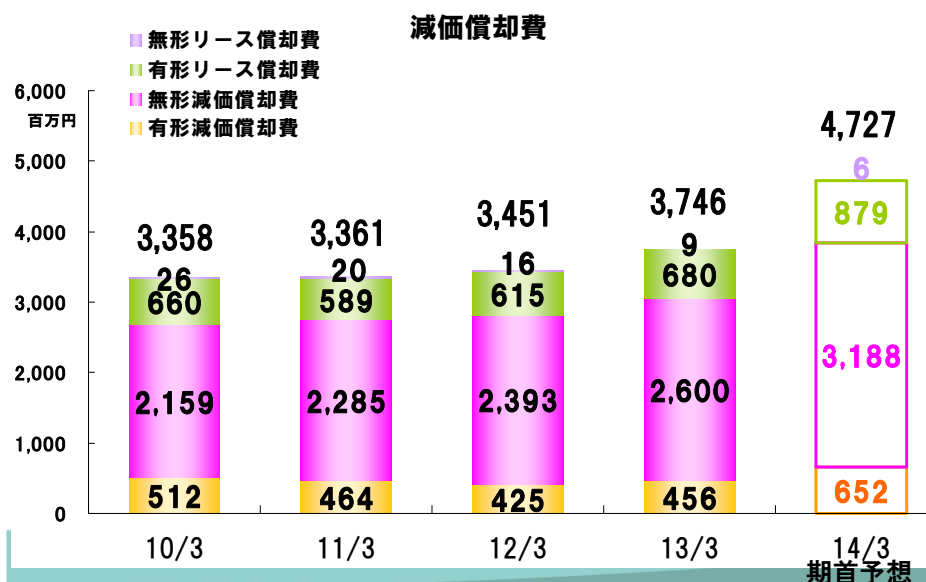
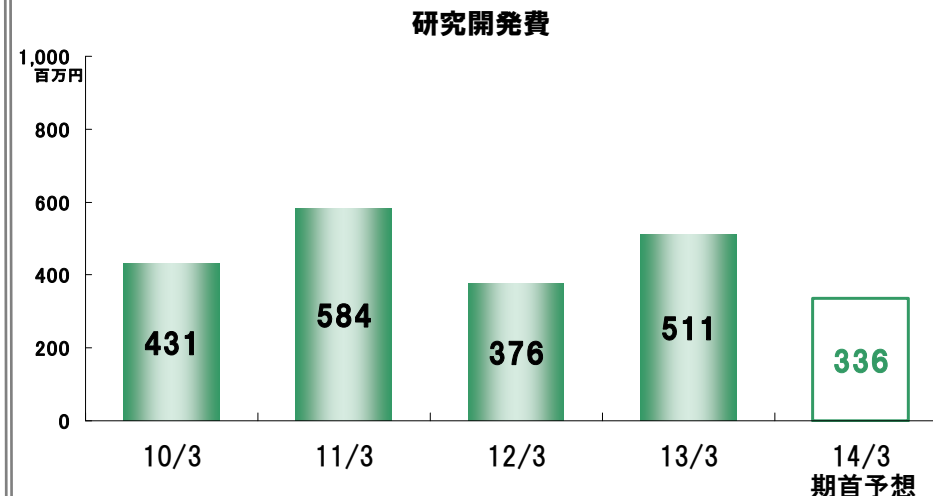
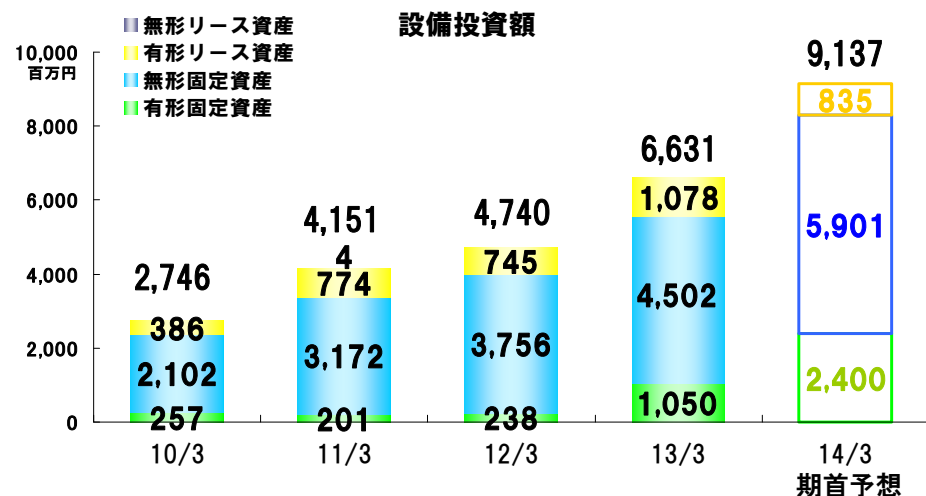


※期首予想は2013年5月8日に発表した数値、業績予想は2014年1月31日に発表した数値です。

4) 四半期売上高構成比 推移



5) 設備投資額、減価償却費、研究開発費(通期)



※期首予想は2013年5月8日に発表した数値です。

3. 中期経営計画(ZGP2015)で区分した事業別概要

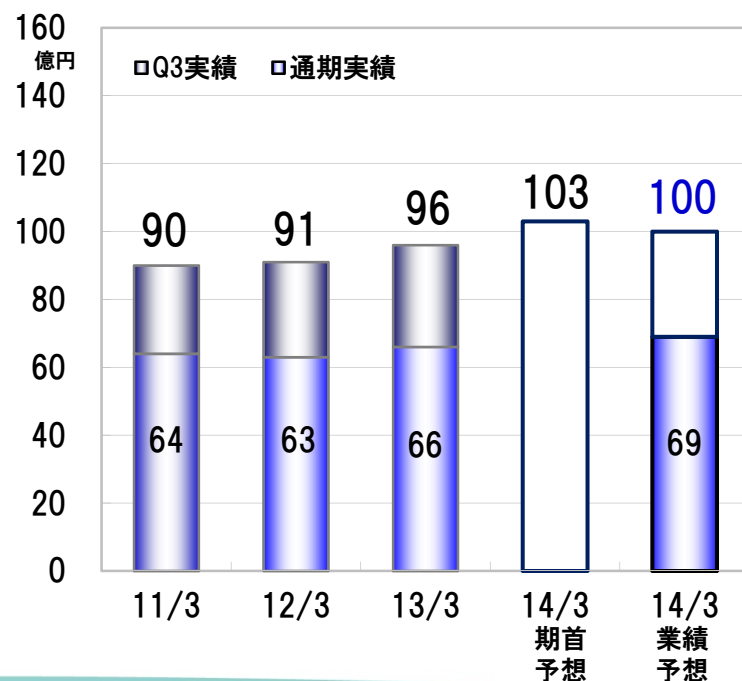
1) 期首事業戦略並びに進捗状況<GIS事業>

売上高・営業利益拡大

事業機会と戦略方針

地図DBとあらゆる情報が
結びつくGIS市場で収益拡大

2014年3月期 売上高予想
期首予想比 $\Delta 2$ 億円($\Delta 2.3\%$)



ZGP2015の最優先事業として用途開発を強化

- ◆商品開発
⇒業種や業務に特化した簡易GISのパッケージ商品
- ◆営業戦略
⇒GISを専門としたパートナーとの連携強化に加え
全国の営業拠点での展開による拡販

【進捗状況】

- ・用途開発による「不動産パッケージ」「スマートフォン版ゼンリン住宅地図」等の新商品をリリース
- ・収益拡大に向け、売切り型からストック型へのシフトを加速

※期首予想は2013年5月8日に発表した数値、業績予想は2014年1月31日に発表した数値です。

3. 中期経営計画(ZGP2015)で区分した事業別概要

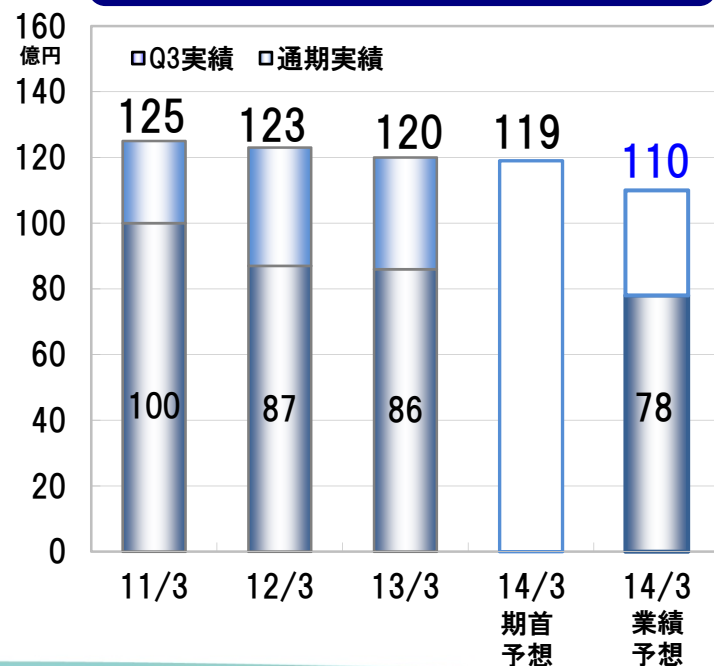
2) 期首事業戦略並びに進捗状況<ITS事業>

営業利益額の維持・安定

事業機会と戦略方針

ナビの多様化と装着率向上に対応した継続的利益確保

2014年3月期 売上高予想
期首予想比 $\Delta 8$ 億円 ($\Delta 7.3\%$)



市場構造の変化に対応しシェアを維持

- ◆高精度地図搭載拡大
⇒純正カーナビ分野でITS実現に向けた開発強化
- ◆スマートフォン連携ナビ向けアプリ開発
⇒マルチモーダルコンテンツ開発の推進



【進捗状況】

- ・ADAS(先進運転支援システム)向け地図データの先行開発により、カーメーカー、ナビメーカーとの連携強化
- ・スマートフォン連携ナビ(ストック型)を提供開始するも、普及に時間を要する状況

※期首予想は2013年5月8日に発表した数値、業績予想は2014年1月31日に発表した数値です。

3. 中期経営計画(ZGP2015)で区分した事業別概要

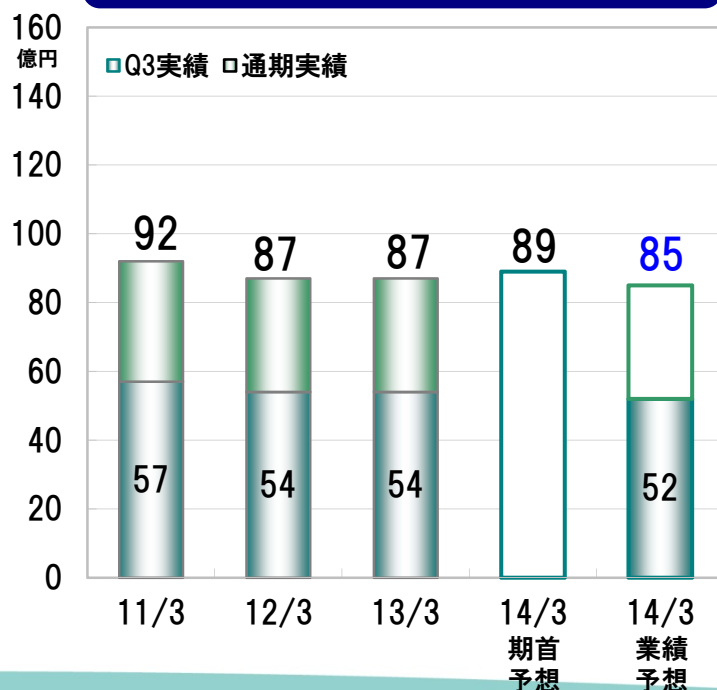
3) 期首事業戦略並びに進捗状況<出版事業>

営業利益率の改善

事業機会と戦略方針

顧客情報蓄積と活用による
安定的収益確保

2014年3月期 売上高予想
期首予想比 $\Delta 3$ 億円 ($\Delta 4.3\%$)



ユーザーの最適な価値を創造

- ◆商品企画
⇒明確なコンセプトによるC向け商品の企画開発
- ◆営業開発
⇒顧客とのリレーション強化による企画商品展開

【進捗状況】

- ・C向け商品の企画開発は限定的
- ・全国60カ所以上の営業拠点で、自治体と連携した取り組み強化により、継続的地図利用、新たな地図利用を提案
自治体と平時から情報交換し、万一の災害発生時には「防災・減災」のため即座に住宅地図等を活用できる環境を構築

※期首予想は2013年5月8日に発表した数値、業績予想は2014年1月31日に発表した数値です。

3. 中期経営計画(ZGP2015)で区分した事業別概要

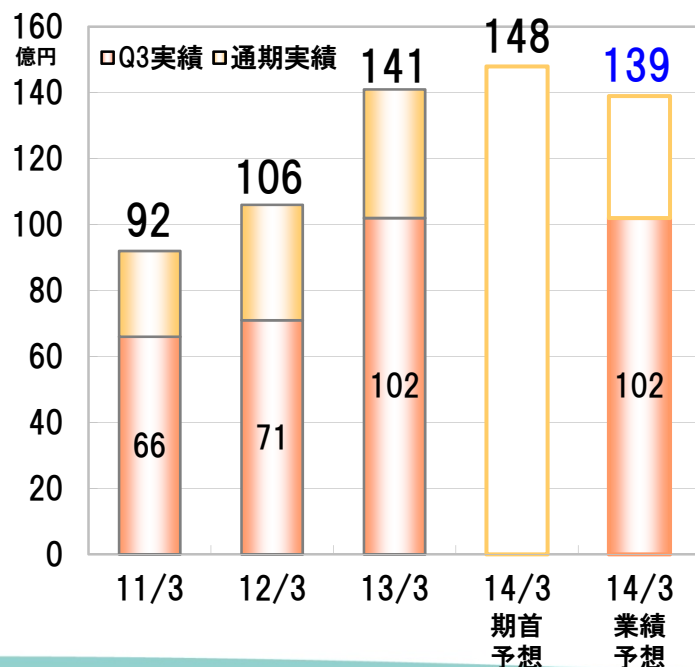
4)-1 期首事業戦略並びに進捗状況<ICT事業>

市場シェアの拡大

事業機会と戦略方針

多様化するWebサービスへの地図提供と自社サービスによる市場拡大

2014年3月期 売上高予想
期首予想比 $\Delta 9$ 億円 ($\Delta 6.3\%$)



位置情報とその情報を見える化する地図情報の活用

◆ 自社プラットフォームと他社プラットフォームの共存戦略



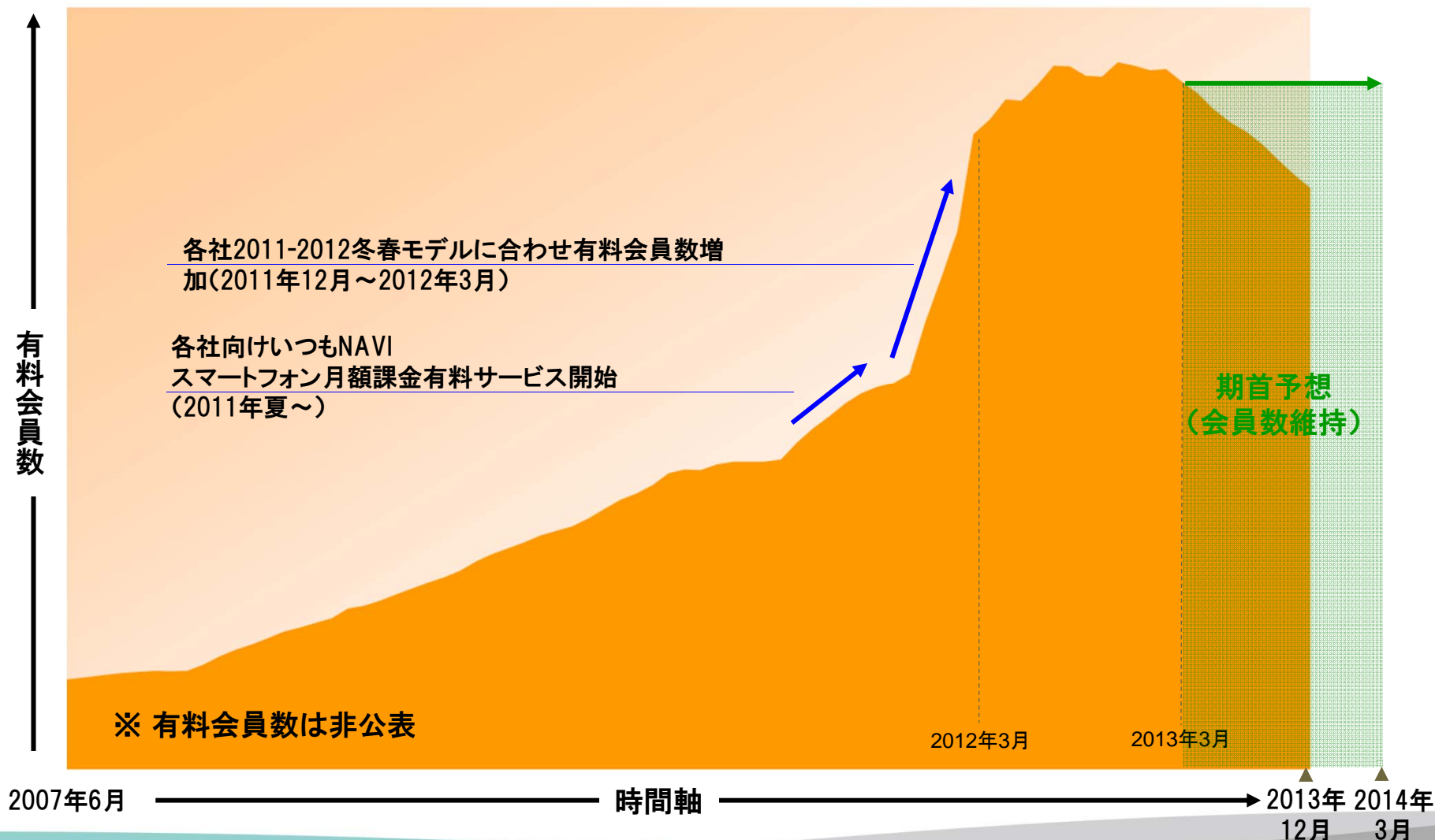
【進捗状況】

- ・いつもNAVI有料会員数は減少傾向
- ・キャリアサービスの受託開発及びポータルサイト向け地図データ提供ビジネスは堅調に推移
- ・PND向けデータ提供ビジネスは、廉価版カーナビやスマートフォンの台頭でシュリンク傾向

※期首予想は2013年5月8日に発表した数値、業績予想は2014年1月31日に発表した数値です。

3. 中期経営計画(ZGP2015)で区分した事業別概要

4)-2 いつもNAVI有料会員数イメージ<ICT事業>



3. 中期経営計画(ZGP2015)で区分した事業別概要

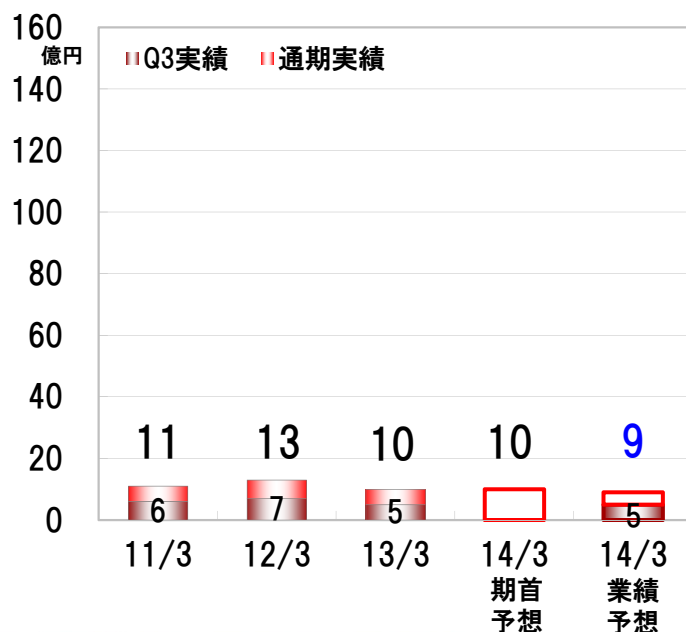
5) 期首事業戦略並びに進捗状況<広告事業>

限界利益額の拡大

事業機会と戦略方針

新たな戦略の実行による
収益改善

2014年3月期 売上高予想
期首予想比 $\Delta 0$ 億円 ($\Delta 6.4\%$)



広告事業の再構築

- ◆仕様変更や拡販により限界利益を確保するレベルとなるも利益貢献に至らず
⇒mi-ru-toは、2014/3期20地区の発行をもって終了
- ◆地域での広告市場における戦略の再構築

【進捗状況】

- ・コミュニケーションメディア事業Actiz(mi-ru-to)は、今期をもって収束へ
- ・地域に根差した広告事業を展開
自治体との連携強化により、安心・安全、防災・減災等をテーマとした、地図・自治体情報が掲載された無料冊子を広告媒体として提供

※期首予想は2013年5月8日に発表した数値、業績予想は2014年1月31日に発表した数値です。

3. 中期経営計画(ZGP2015)で区分した事業別概要

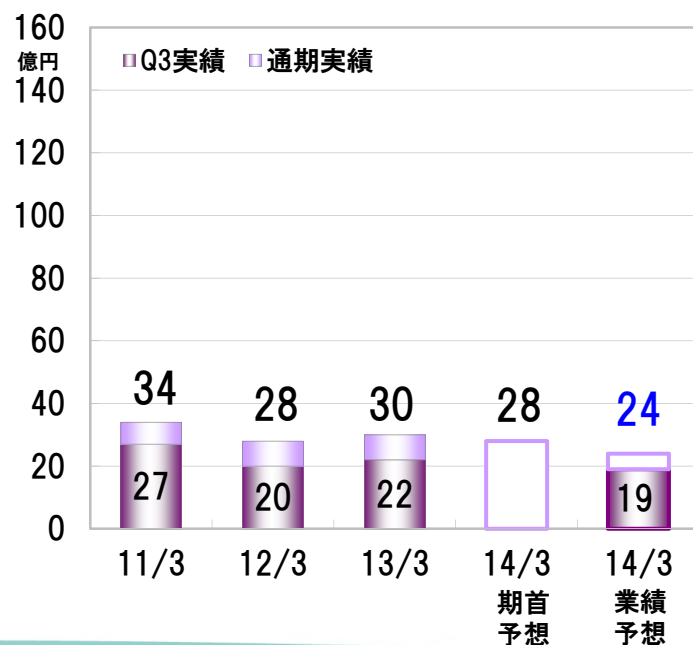
6) 期首事業戦略並びに進捗状況<グローバル事業>

インド市場の創造

事業機会と戦略方針

新たなビジネス領域としてインドを中心とした新興国での事業基盤を構築

2014年3月期 売上高予想
期首予想比 $\Delta 4$ 億円 ($\Delta 15.6\%$)



インド市場で本格展開

- ◆現地に支店を開設し、情報収集・日系企業の対応を強化
- ◆スマートフォン向けサービスのリリース

【進捗状況】

- ・インド、東南アジア等の新興国で事業基盤を構築
- ・インド及び東南アジアで、位置情報サービス事業を展開しているINFOTRACK社を買収
- ・スマートフォン向けサービスや移動体管理サービスなど、当社のノウハウを生かしたサービスを展開
It's NAV Southeast Asia(2013.8リリース)

※期首予想は2013年5月8日に発表した数値、業績予想は2014年1月31日に発表した数値です。

3. 中期経営計画(ZGP2015)で区分した事業別概要

7) 期首事業戦略並びに進捗状況<その他事業>

その他事業の概要

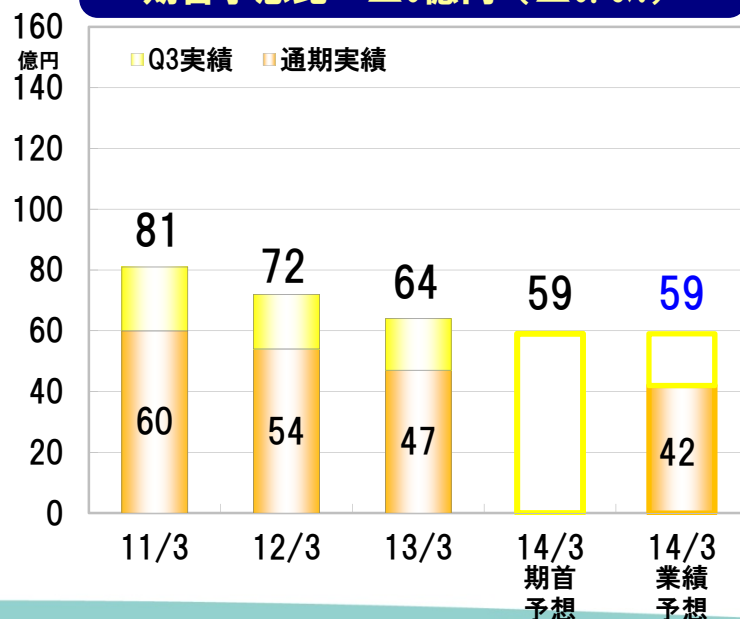
連結子会社が行う各種事業を集約

- ・商業印刷
- ・企業向けノベルティ商品
- ・インターネット広告

事業機会と戦略方針

本業との連携強化

2014年3月期 売上高予想
期首予想比 $\Delta 0$ 億円 ($\Delta 0.9\%$)



【2014年3月期期首予想】

売上高概況

(株)ノッキングオン清算、(株)ダイケイのCAD業務縮小等により前期比 $\Delta 4$ 億円の59億円



【進捗状況】

グループシナジーを再検証し、子会社の事業再編を実施
(株)ダイケイのCAD受託処理業務は2013年9月で終了

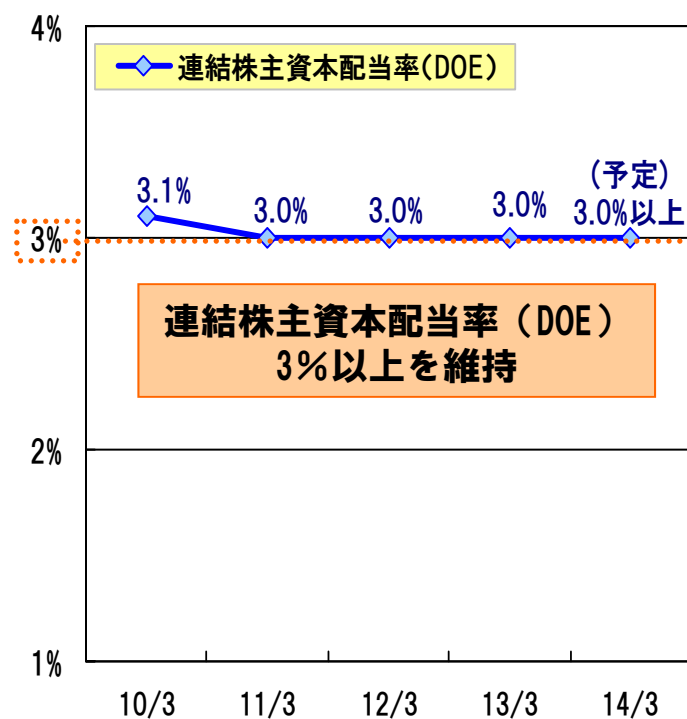
※期首予想は2013年5月8日に発表した数値、業績予想は2014年1月31日に発表した数値です。

4. 配当金

1) 配当金推移と今期の配当金について

基本方針：適正な内部留保を考慮しつつ連結ベースの利益水準に応じた利益還元を実施

中間配当金：15円
年間配当金：30円（予想）当初予定どおり



5. 自己株式取得

1) 自己株式取得枠設定と買付状況

自己株式の取得に関するお知らせ(2013年10月31日適時開示・抜粋)

2013年10月31日開催の取締役会決議による自己株式取得枠設定

- (1)取得対象株式の種類 : 普通株式
- (2)取得し得る株式の総数 : 100万株(上限)
- (3)株式の取得価額の総額 : 15億円(上限)
- (4)取得期間 : 2013年11月1日(金)～2014年3月31日(月)

自己株式取得	2013年 9月30日現在	上記取締役会決議後 第3四半期末日まで	【上限取得の場合】 100万株取得後
発行済株式総数	38,200,910株	38,200,910株	38,200,910株
自己株式取得(市場買付)	—	350,000株	1,000,000株
単元未満株式の買い取り	—	441株	—
自己株式数	1,435,293株	1,785,734株	2,435,734株
自己株式保有割合	3.8%	4.7%	6.4%

※ なお、第2四半期会計期間末日現在で自己株式と認識しておりました「野村信託銀行株式会社(ゼンリン従業員持株会専用信託口)」保有の当社株式は、当第3四半期会計期間末日現在では、すべて従業員持株会へ売却されております。

ZENRIN

Maps to the Future

株式会社ゼンリン <http://www.zenrin.co.jp>
コーポレート本部 経営管理・IR部
IR問い合わせMail : zenrin-ir@zenrin.co.jp